

青森県の肉用鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認！ (家きん国内18例目)

【概要】

- ・青森県上北郡横浜町 肉用鶏 約17万羽
- ・簡易検査および遺伝子検査で陽性。

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

※鳥インフルエンザの発生リスクは5月の連休頃まで続きます。
生産者の皆さんはくれぐれもご注意ください。

＜家きん舎内用の長靴への履き替え＞

※全国的に本病の発生するリスクが極めて高い状況が継続中！

※農場周囲・家きん舎のすぐ横にウイルスが迫っている！

→家きん舎外で使用した履物にはウイルスが付着している可能性が

あるので家きん舎への出入り時は必ず家きん舎内用長靴に履き替えましょう。

その際、

- ・長靴を脱ぐ場所と履く場所の間をスノコ等で区切るなど、家きん舎外のウイルスが持ち込まれないよう交差汚染を防ぐ物理的な障害を置きましょう。
- ・家きん舎内外で使用した長靴は使用後に洗浄し有機物を除去した上で消毒することで、常にウイルスの汚染がないよう清潔にしておきましょう。

①早期発見・早期通報

②家きん飼養農場の防鳥ネットの再確認

③ウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した

農場内及び家きん舎内への侵入防止対策の徹底

④農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018